



◀野口昌作会長
(上中山地区)

みんなであらいたい!

(第2回) まちづくり
活動報告

まちづくり、「実行」のステージへ

◆上中山地区会議野口会長インタビュー◆

本年1月から第Ⅱ期の「まちづくり地区会議」がスタートしました。このコナーでは各地区(旧小学校区)の会議の会長さんに目標や本年の抱負などを語っていただきます。第1回目は上中山地区の野口昌作会長のインタビューをお届けします。

―昨年までの活動を振り返って―

(野口会長) 上中山地区ではこれまで集落の活性化に重点的に取り組み、地区会議では、集落の課題や将来のあるべき姿など情報・意見交換を進めてきました。八重集落や樋口集落では、「集落の健康診断」を踏まえて、「大山町地域活性化支援事業交付金」を活用し、交流の活性化のための集会所、広場の環境整備やグラウンドゴルフ場整備による世代間交流などの取り組みが進められました。

また、八重集落では、多彩なイベント(初詣の参拝者へのおもてなし、花見、運動会、盆踊り、まんどい、文化祭、賽の神さん)を通じて、集落のみなさんがたくさん集い、交流

により互いの存在感を確認し、達成感を共有できたと思います。

―今後の抱負・具体的な活動の検討状況―

(野口会長) 上中山地区では1月に第1回目の地区会議を開催し、第Ⅱ期の取り組みとして、「好きです上中山」をキャッチフレーズに、産業(所得)、福祉(助け合い)、コミュニティ(イベント)の3つの分野でプロジェクトが提案され、議論を進めています。

産業分野では、所得を獲得する機会が乏しいことが若者の流出につながっているとの認識の下、清流甲川を地域おこしの共通のシンボルとして、減農薬、減化学肥料の米の栽培、販売が話題になりました。福祉分野では、高齢化が進む地域の助け合いとして、買い物や宅配サービス・除雪の支援など、コミュニティ分野では地区内の各集落の行事の情報を共有し、地区全体で盛り上げていくことなどが議論されました。また、子どもたちが牛に触れ合う機会をつくることや蛍祭りの実施などを熱心に話し合いました。地区内で情報共有を図るために各集落の行事をまとめたカレンダーの作成も提案されました。

―第Ⅱ期の取組を進めるに当たっての課題―

(野口会長) ま

ちづくり活動をいかに「実行」に移していくかであり、集落でまちづくりに興味のある方、将来の上中山を憂いておられる方をいかに巻き込み、「実行できる体制」を構築していくかが重要だと思います。もちろん、各集落の区長さんの賛同を得るための努力もしていかなければならないと思います。また、婦人団体や老人クラブなど様々な分野の団体の協力を求めることも必要であり、上中山地区でその活動が広く認知される地区会議でありたいと思います。そのため、活動の拠点となる場所を確保することも必要と考えます。

まちづくりは今の段階から実践していかないと、地域間でどんどん差がついていくことから、危機感を持ってみなさんと力を合わせて取り組んでいかなければならないと思っています。



▲地域の伝統行事・虫送り(束積)